

市民と政治の橋になる

華やかに見える宝塚の街にもさまざまな課題を抱えた人たちが住んでいます。行政の最前線、市役所の窓口で出会った多くの人たちの垣間見た人生の重さと不安。行政制度の限られた枠組みの中では救えなかったもどかしさ。生まれ育った宝塚の街の人たちのために、もっとできることはないのか。制度の枠組みを超えた政治の力があれば、重荷を軽くすることができるのではないか。橋本なるとしが兵庫県政に挑む、原点の想いです。



Profile

- 1975年生まれ。**
- 学歴** 宝塚武庫山幼稚園、宝塚第一小学校、大阪教育大学附属池田中学・高校、京都大学法学部卒業。
- 職歴** 1999年、宝塚市役所入職。国民健康保険課、国体推進課、医療助成課、観光企画課、窓口サービス課にて22年間勤務。2021年、宝塚市役所を退職し、現在、立憲民主党兵庫県政担当（宝塚市）。
- 活動歴** 2007年、宝塚芸術探検隊を結成し地域でアートイベントを主催。2008年からは宝塚音楽回廊スタッフとなり、2013年、一般社団法人宝塚まち遊び委員会の創設に参加。2016年、宝塚市職員労働組合の執行委員となり、書記長・執行委員長を歴任。2021年、兵庫県議会議員補欠選挙に初挑戦。惜しくも次点。

立憲民主
The Constitutional Democratic Party of Japan
立憲民主党立憲民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
TEL 03-6811-2301
FAX 03-6811-2302
兵庫県第6区版

発行者
橋本なるとし後援会事務所
住所 : 宝塚市野上2丁目4-15
電話 : 0797-26-7588
FAX : 0797-26-7589
Email : hashimotonarutoshi@gmail.com



橋本なるとし

はしもと

応援します！
さんを

橋本なるとし

- 石井登志郎 (西宮市長)
- 金澤 和夫 (前兵庫県副知事)
- 越田謙治郎 (川西市長)
- 佐々木基文 (高野山真言宗 西光院名誉住職)
- 末岡 悟 (前宝塚市医師会会長)
- 中川 智子 (前宝塚市長)

市民と政治の橋になる

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

Bridge01

県と市の橋になる

まちづくりや制度設計、財政措置において県政の役割は重要ですが、市民からその連携は見えにくい。橋本なるとしては「県と市の橋になる」ことで連携を強化し、宝塚のまちを舞台に課題解決を目指します。

具体的政策

- 高齢者の移動を支える公共交通と福祉輸送サービスの整備
- JR武田尾駅のバリアフリー化
- 若者の自由な発想を活かしたソーシャルビジネス支援
- 物価高に負けない賃金アップなど



Bridge04

環境と観光の橋になる

橋本なるとしが住む宝塚西谷地域の県有林は自然エネルギーの宝庫です。「観光のまち」宝塚の自然と文化が調和した街並みは、コロナ禍からの癒しを求める時代のニーズに応える可能性を秘めています。橋本なるとしては「環境と観光の橋になる」ことで、生活と産業の両立を目指します。

具体的政策

- 里山の魅力を活かした情報発信
- コロナ感染症収束後のインバウンド（訪日外国人旅行者）の誘致
- 花火大会の復活
- 再生可能エネルギーの導入促進
- 里山保全の推進など

Bridge02

医療と福祉の橋になる

孤独な人、孤立した人をなくしたい。来る超高齢化社会に向けて、医療と介護・福祉の連携を強め、現役世代の介護離職を防止し、安心して次世代を育める家庭環境を築くこと。そして、誰もが良く生き生き旅立ちの日を迎えられること。橋本なるとしては「医療と福祉の橋になる」ことで、全世代型福祉社会の実現を目指します。

具体的政策

- 赤ちゃんとお母さんを孤立させない産後ケアの充実
- 宝塚市立病院の課題解決
- 介護人材の処遇改善
- 親亡き後の障がい者支援など

Bridge03

教育と社会の橋になる

学校現場においては教職員の長時間勤務を是正し、子ども達と向きあう時間を増やします。学童保育不足や教育費の負担にも優先的に取り組みます。そして橋本なるとしては人と違うこと、創造性とイノベーションを育む多様性重視の教育を強く支持し、文化・芸術の街宝塚の次世代育成を目指します。

具体的政策

- 保育所・学童の待機児童解消
- 病児保育の拡充
- 児童虐待防止のための介入とケアの各専門チームを養成
- 教員多忙化対策としての負担軽減
- 私立高校授業料負担軽減など

Bridge05

市民と政治の橋になる

安心して本音を言える信頼関係を築くこと。対話が政治の原点です。橋本なるとしては「市民と政治の橋になる」ことを目指し、リアルとデジタルを活用して市民活動や経済活動のネットワークを築き、課題を解決します。

具体的政策

- 「どこに相談したらいいかわからない」を受け止めるワンストップ窓口の創設
- 身近な政治課題を語る対話集会を市内各所で継続開催
- SNSやYouTubeチャンネルを活用した宝塚の人材の発掘、発信など